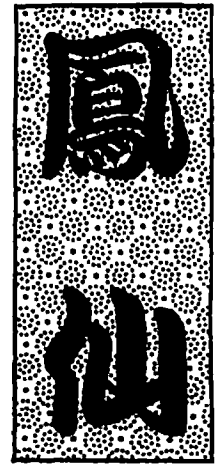
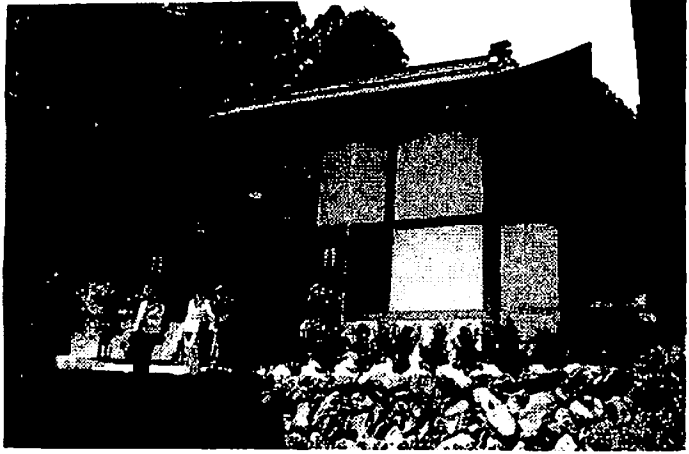


法要落成祭に恒常の好絶

4月29日に鳳仙寺フェスタ



発行 義男
 編集 清水
 発行所 鳳仙地区協議会



輪堂や勢至菩薩も公開

法要
 特集

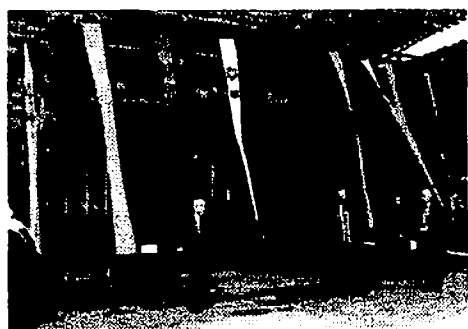
4月29日(祝日・水)午前11時から、菩提寺で「桐生山鳳仙寺フェスタ」と銘打って、三年余の工事歳月をかけて完成した常盤

法要に先立ち 講演と説話

境内では屋台村

法要に先立って、「市重文指定鳳仙寺輪堂」と「秘仏勢至菩薩像」を公

開。午前11時から境内で鳳仙婦人会による屋台村(軽食・飲食物提供)での接待が行われ、大変に賑わい



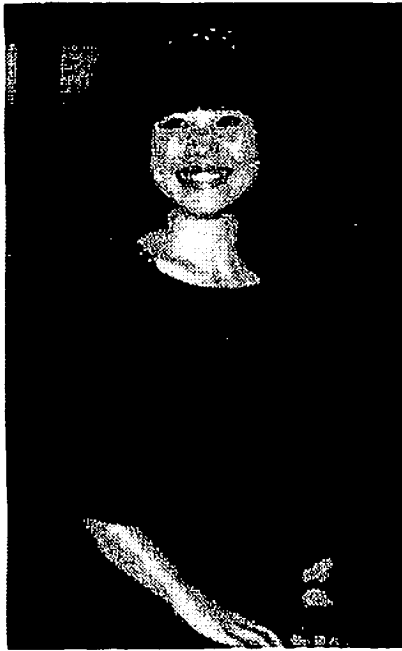
境内管理(上)や受付・記念品引き換えなどに活動する世話人さんたち

殿(祀堂)の落慶法要関連の行事が開催されました。屋台村(軽食提供)、聴く講演会、

おおぞら説法)、見列者は『無』の境地で、充実と満足の日を過ごしていったようでした。

午後1時からは人気上昇中の仏像ガール・廣瀬郁美さんが本堂で講演。同2時から天徳寺・中野尚之老師による説話と、イベントは多彩でした。

境内全体をまだ芽吹いたばかりの若葉が覆い、人々はその緑に染まるかのよう。騒音から隔絶された鳳仙寺の豊富な自然美の別天地で、ひとときを謳歌していました。(四野三詞)



⇒説法される中野老師 ◁講演される仏像ガール廣瀬郁美さん



若葉の下で和やかに飲食される皆さん

この日、午前11時から軽食(たけのご御飯・ぶた汁)と喫茶(コーヒー、お茶)の接待、午後1時からは本堂で仏像ガール(廣瀬郁美さん)による講演「仏像の見方」、同2時から境内で新潟県天徳寺・中野尚之老師による説話「あおぞら説法」など、様々なイベントが開催されました。

イベント



公開された市重文の輪蔵(左=経文、右=双林大士)

い、仏像と対面して目を合わせよといった内容を、説話では植木等の歌ったスーダラ節の「わかっちゃいるけどやめられない」の歌詞を取り上げ、人間の心の弱さと信仰の大切さ、そして、本尊に住職に自身が一直線になることの心の持ち方などを説法された。すがすがしいそよ風と瑞々しい若葉の下での数々のイベントに、参列者には充実した一日になっていたようでした。



爾々と進められた落慶法要

常盤殿落慶法要

『常盤殿落慶法要』は、講演と説話終了後の午後3時から、新装の常盤殿内で営われました。菩提寺の良廣住職を導師に、30分にわたった法要は実に荘厳で、みごとな落慶法要になっていました。そればかりではありません。わたしたちが、このような落慶の法要の実体験できるということは、一生に一度あるかどうかというだけに、貴重な法要体験です。参列者には、本当にありがたい機会が得られたということができましよう。



導師の良廣住職



落慶法要に参列の方々

開山山堂慶讃

桐生山鳳仙寺御詠歌

作詞・朝倉裕子さん

常盤なる柳(かや)の大樹は今超へて

次なる世へと深き根を張る

常盤殿落慶法要の席で上掲の朝倉裕子さん作詞による「桐生山鳳仙寺御詠歌」が披露されました。

呀えた鈴の音に御詠歌のリズムが心地よく、荘厳な『常盤殿落慶法要』が、参列者の心を清浄にさせていたようでした。

本堂で厳粛に施食会 座りきれず立っての参列者も

3時半から開始

今年の施食会法

要は、4月29日(水)

実施の「常盤殿落

慶法要」終了後、

参列者が本堂に移

動して、午後3時
30分から執り行わ



大勢の各寺ご住職参集のもとに
厳粛に執行された「施食会」

れました。

大勢の参列者

施食会法要は例

年参列者が多いの

ですが、今年の特

別の多さでした。

常盤殿落慶法要

がありましたから、

なおのことの大勢

で、本堂内には全

員座ることができ

ず、立ったまま

の参列という人が

大変多く見られま

した。

お焼香は一回

通常、お焼香は

お香を三回献しま

す。それが、今年

は参列者の多さか

ら「一回だけ」に

限定されました。

しかし参列者は、

その一回だけのお

焼香に三分の心

を込めて、ご先祖

さまの霊に献じて



本堂を埋めた檀家の方々

いました。

墓地への列続く

塔婆の申し込み

本数も多く、法要

終了後、その塔婆

をいただいで、そ

れぞれの墓地へと

足を運ぶ人の姿が、

途切れることなく

続いています。



御詠歌も奉納



ご先祖の霊にお焼香を